

## 議会意見交換会実施報告書

開催日時	平成25年1月28日（火） 19時00分～
開催場所	東別館1階多目的ホール
参加市民数	45人
出席議員	<p>班長 竹内達夫議員</p> <p>報告者 竹内達夫議員</p> <p>出席議員 浅見信夫議員、押谷憲雄議員、阪本重光議員、杉本敏隆議員、竹内達夫議員、土田良夫議員、中寫康雄議員、林多恵子議員、東野司議員、藤井繁議員、溝口治夫議員、吉田豊議員、脇阪宏一議員</p>
実施内容報告	<p>意見交換会</p> <p><b>第1部</b> 議会報告会 平成24年度決算認定にかかる議会の議論等の報告</p> <p><b>第2部</b> テーマによる意見交換会 テーマ『今後の少子・高齢化対策について』</p> <p><b>その他</b> 市議会・市政へのご意見をお聞かせ下さい</p> <p>質問および回答内容は別紙要点記録のとおり</p>
要望・提言等	市民からの要望・提言は別紙要点記録のとおり
その他特記事項	

## 意見交換会要点記録

### ◆ 一部 議会報告会

意見：報告の内容は広報に掲載していることを言っているだけであり、こんなことがあったとか、こうしましたとか、こうしていきますと言ったことを報告しなければ意味が無い。

回答：貴重なご意見ありがとうございます。今回の意見交換会は第1部を決算報告、第2部とその他の意見交換としています。

質問：市の財政状況、実施収支比率が今どういう状況なのか、議会は把握しているのか。また、580億円という支出規模というのはどの様に考えているのか。

回答：早期健全化の判断基準として、実質の赤字比率が11.56%、連結実質赤字比率は16.56%。実質の公債費比率は25.0%で、資金力比率は350%。資金力比率は24年度決算においては妥当だという決算がされています。

意見：決算報告は市長がすべきものと思います。議員としての立場での報告が欲しかった。委員会の報告の仕方も、出来れば委員会からの意見があつて、それに対しての当局側からの答えがあれば親切かと思う。産業建設常任委員会のような方法が良いと思う。各委員会の型式がバラバラなので統一して欲しい。

回答：総務教育常任委員会は、4点の市の不十分な点について議会から提案しており、これに対し市は真摯に受け止めるとの回答を得ています。決算審査ですのでそういう形で終わっています。

回答：健康福祉常任委員会では、市税や地方交付税の見直しにより、市の財政状況は一定の確保をされています。しかし、扶助費が伸びており、合併交付税の算定替えが少しずつ減り、5年後には50数億円の減となります。このことに見合った財政規模、運営をする必要があり、市は切り詰めた運営をせざるを得ない状況です。議会は市民を守ることが第一から様々な提言をして、審議しているところです。

意見：意見交換会の開催日数ですが、2会場になった理由はなにか、議員が大勢いるのだから、せめて旧市町単位程度でやらないと集まって頂けないかなと思う。

回答：要領により、市内2か所で開催すると設定しています。今回は第1回目であり、今後、回を重ねる毎に検討してまいります。

意見：お達者券について、欲しい人が貰えない状況がある。券をもらっても使わない人もいる。老人会や社会福祉協議会ではなく自治会に配って欲しい。出来れば発行後にも利用の啓発をやって欲しい。

回答：1万枚発行していますが、高齢者は3万人。限定の中で活用して貰っている。3年間で利用が少ないことから、議会として、引き籠りの対策等に活用できる施策を考

えるよう提言したところでは。

## ◆ 二部 少子高齢化対策について

質問：高齢者の独り暮らし対策はあるが、二人暮らしに対する施策はないか。

回答：市には避難・支え合いの支援制度があります。自治会で見守りをされている例もあり、自助、協助により、みなさんが助け合う精神を広めることを行政が応援していく姿勢で、議会も提言していきたいと思っています。

質問：全国的に少子高齢化が進んでおり長浜市だけの問題ではない。議会としてはどのような対策をされるのか、多岐に渡る事業だと思うので、専門的な委員会を開いて検討していかないと、考えを聞かせて欲しい。

回答：行政は様々な審議会で審議されているところです。議会は、現在、健康福祉常任委員会で少子高齢化問題を取りあげようとしているが、緊急を要し、大きな問題になれば、特別な委員会を設置しながら検討していきます。

質問：少子高齢化対策で結局何が必要かといえば、人や企業が多く来て、税金が沢山納められるようにしないといけない。そのような事について、議員は考えているのか、せっかく大きな地が有るのに、有効活用して市民の負担にならないことを考えて貰わないと。

回答：企業誘致については、議会としても推進する立場でやっています。今度、「味泉」が長浜市に来て頂く事になりました。

再問：雇用は何人くらいあるのですか。

回答：20人位。正社員。それともう少し大きな視野で見ると、施設を建設すると3年間の固定資産税を減免する制度があります。農業、中小企業、林業等、地元産業の振興策を大いに進める事が非常に大事です。

再々問：進める具体例は何があるか。

回答：今、例えば農業で自立するにも米価が下がり生活出来ないと、だから担い手が出来ないということで、段々衰退していくのが農村部で広がっている訳です。非常に難しい問題だと思いますけど。国等に多くのメニューがあります。その中でどれを使用するかは行政の考える予算の取り方だと思いますけど。そういうことを直接的、間接的に議論するとなると、常任委員会では無理だと思います。ですから特別委員会を作って専門的にやっていくことが本質ではないかと思います。これまで、原子力対策特別委員会とか鳥獣害対策特別委員会とかを作り集中的に取り組んできたことがあります。今後も重要な問題について、議会として専門的に対策をあげていきたいと思っています。

質問：介護について、介護者には大きな負担になる。現実には介護ステーション・特老・

メディケアなどがあるが、全部、何年待ちという状態であり、このシステムを一本化にして市の介護課で受付をするという形には出来ないのでしょうか。

回答：介護保険が使い難くなっていく状況があると思います。現に、新聞でも訪問介護、ディサービスは市町村にという方向が出されて、4月以降に法改正されていくだろうと思うし。そうなると市はしかり受け止めなければならないと思います。市が在宅でも施設でも同じサービスが出来る体制作りをこれからやっていかなければならないと思います。議会としては積極的に提案をしていきたいと思っています。一本化の問題は、今は各施設に申し込んでいる。そして基準があり優先順位が決められています。

## ◆ その他 自由意見

質問：実質公債比率25%が事実とすれば大変なことだと思うが、その辺の認識はどう思っているのか。

回答：平成24年度の実質公債比率は11.8%です。

質問：市は非常に観光客が多く、イベントも沢山しているので、観光行政について、どのような方向でしているのか？

回答：今年、軍師官兵衛ということで約1年間イベントを開催しますが、観光協会様や、奥琵琶湖観光様等、様々な方の協力を頂いています。何とか2年前に匹敵するような集客を思っていますし、皆様にも頑張ってもらっているのが現状であります。

質問：議会基本条例を見ると、最高の規範条例であると認識したが、議員報酬とか議会内容について一部他の条例に基づくものと書かれているが、最高の規範条例であるならばこれが基本でなければならないと思うが、その辺の議論の中身についてお聞きしたい。

回答：昨年9月まで約3年間議論してきました。中身については、各議員が納得し全会一致で制定させていただきました。ご質問の最高規範であるこの条例に全てが網羅されているとは認識しておりませんが、本日の意見交換会も含めて条例に沿って、長浜市議会としてどうあるべきかというのはこれから模索していく。また確立してまいりたいと考えています。

質問：観光行政について、市は活発にされているが、予算立てについてどの位観光行政に対する予算を組まれているのか関心を持っているのでお聞きしたい。何故かと言うと、観光に対して税収が薄い。例えば、高山市では十分反映し難いと聞いているし、彦根市も同様です。どの様に観光が発展しても、税収には行きつかないのが現状ですが、その辺をお聞きしたい。

回答：予算についてはこの場では把握しきれていないので、宿題として預かり、何らかの形で公表させて頂きたいと思います。なお、前回の大河ドラマの時は一般会計予算を組んで実行委員会に委託したが、実質は10億円近い利益がありました。

質問：今回、新聞等を見て不祥事が発生しているという観点から見て、議会のチェック機能を問いたいのですが。例えば、長浜の学校給食センター建設に当たって、当初予算より4千万円位のオーバーがしていると思います。議会としてのチェック機能をどの様に議員の中でしているのかお聞かせ頂きたい。

回答：長浜学校給食センターについては、駐車場と建屋の間が狭すぎて運搬車の迂回が取り難いということで、修正した関係で予算が増えました。

再質問：それは、土地の広さとか設計で解る事ではないのか？

回答：それについては、委員会で十分審議された結果、一般質問もされた人もいました。最終的には修正しなくてはならないので、2千万程ですけど確かに有りました。

質問：そういった事が我々市民に直ぐに伝わらない。確かに学校給食の事だから大事なことでお金使って建てることに対しては何もないが、何故初めから間を広げておかないのとかなど、一生懸命して欲しい。

回答：行政側の組織がいくつかに分かれておまして、当初、設計した時点の建て位置と、その後、地元協議された中でその位置が変更された訳です。それによって、当初の配車する位置と後の配車との行政の組織間の連携が、上手くいってなかったということ、我々、図面が出来て、建設が完了して知った訳です。我々も厳しい指摘をしたことも事実です。また、現場に出て行かないと知ることが出来なかったのも事実です。

再々問：チェックの仕方が甘かったと違うか。

回答：その点については我々も反省するべき所はあると思います。

質問：黒壁改修工事をしているが、重要文化財級の建物であつたらしい。重要文化財級の建物を北海道かに移築されるのか。重要な観光資源になる物件であり、京都の教授が言っているものを碎いて破棄してしまうようなことしていいのか。チェック出来ていない。この点も聞きたい。

回答：事実関係等をすぐに確認します。

意見：1点目、長浜の観光において、心の健康と肉体の健康を位置付け、買い物散策の黒壁とか文化遺産の散策ということで、心を癒せる。また、肉体的な事は地産地消で、地域のおいしい物でもてなすことや、滞在型観光で、年1回位は家族の健康とリフレッシュの中で、湖北・長浜に行こうというイメージアップですね。オアシス特区構想は全国どこにもありません。長浜からモデル的なものを作って活気あるところを見せて欲しい。

2点目、電柱の地中化で駅前通りが良くなります。その時に観光の意味で、石田三成と秀吉との連携で、例えば「せんなり出世街道」とかいう名称にしてイメージアップしてはどうか、歴史的なことを活かしながら全国に発信できるようにして頂き

たいという思いがあります。

回答：今、やりますとは言えませんし、行政とも協議をして対応させて頂きたいことだと思えます。

質問：中学生の鞆は、大体8～10kg位であり、成長期には良くないのではないかと思うことや、教室のロッカーが小さすぎる、机も小さいので狭い所でノートを書いている。そういう事情を教育委員会は知っているのか。子どもの身体も昔より大きくなっているのに、昔の机を使っていることを気に掛けて欲しいと思えます。

回答：このことについては、改善出来るように学校等には伝えたいと思えます。

質問：市民病院の駐車場がいつも満車状態となっており、原因の調査をして欲しい。

回答：健康福祉委員会において、駐車場を有料化し、病院に関係のない無断駐車の実除等について再三申し入れをしているが、多額の費用も人も掛かるため実現していない。しかし、市民病院では北部分の一部をゲート化の改善や、監視者も数名配置しています。今後も早く改善していくよう伝えていきます。

質問：駅前道路側で、駐車場を有しない店においては、お客が買い物中、路上駐車をしており、バス等が対向出来なくなっている。事故とか起きない限り警察も対応しない状況で気になっている。駅前通りの通行がスムーズに出来るような環境にして頂きたい。

回答：ご意見のあったことを、都市建設部に伝えていきます。

意見：地域に議員が出向いて、膝つき合わせて身近な意見交換会にして欲しい。